

# 両城中学校区小中一貫教育だより

二川教育プラン（両城中学校・両城小学校・港町小学校）令和8年3月 3号

両城中学校区では、義務教育9年間で修了するにふさわしい学力と社会性を育成するため、両城中学校・両城小学校・港町小学校の3校が連携し「二川（ふたかわ）教育プラン」を実践しています。

## オープンスクール

2月4日（水）、来春に両城中学校への入学を予定している両城小学校と港町小学校の6年生を対象に、「両城中学校オープンスクール」を開催しました。この行事は、小中一貫教育における「中1ギャップ」の解消と、義務教育のゴールを見据えたスムーズな接続を目的に、毎年実施しています。

この日のメインイベントは、中学校の先生による「体験授業」です。児童たちは、小学校とは少し雰囲気の違いを感じる国語科や英語科、音楽科に分かれ、専門的な教具や教材を使った授業を受けました。

最初は緊張した表情を見せていた6年生でしたが、先生方の情熱的な指導や、工夫を凝らしたクイズなどが始まると、次第に身を乗り出して取り組むようになりました。授業後には「中学校の勉強は難しそうだけど、楽しそう！」「早く新しいことを学んでみたい」といった前向きな感想が多く聞かれました。

授業の合間には、両校の児童が互いに言葉を交わす場面も見られました。4月からは同じ両城中学校区「二川教育プラン」の下で学ぶ仲間となります。



### 国語の授業

「百人一首を楽しもう」

### 音楽の授業

「ギターに触れてみよう」

### 英語の授業

「Let's Talk in English!」

## 二川教育全体研修会



かけ算のきまりを生かした説明



考えを児童同士で共有

1月30日（金）に、今年度最後となる「二川教育全体研修会」を両城小学校で実施しました。今回の研修会では、第2学年の算数科「かけ算のきまり」の和泉教諭の授業を公開し、中学校区の3校（両城中・両城小・港町小）の教職員が集まり、研究協議を行いました。本時の学習課題は、「 $4 \times 12$ 」のような九九の範囲を超える計算の仕方を考えることでした。2年生の児童たちは、これまで学習してきた「かけ算のきまり（かける数が1増えると答えは…など）」を活用し、図や式を使いながら自分の力で答えを導き出そうと粘り強く取り組んでいました。事後の研究協議では、中学校区の教職員で「児童が主体的に学びを選択する場面」や「振り返りによる変容」について意見を交わしました。中学校からは、「小学校でのこうした論理的な思考や表現の積み重ねが、中学校の数学（文字式など）への土台となる」といった意見が出されました。今回の授業を通して得られた知見を、今後の「二川授業スタイル」の深化に繋げ、9年間を見通した確かな学力育成を推進してまいります。

## 二川ロードレース大会

11月30日（日）、冬の訪れを感じさせる爽やかな青空の下、マリンパークにおいて「二川ロードレース大会」が開催されました。この大会は、両城中学校区の小中一貫教育における「心身のたくましさを育む」教育活動の重要な柱（授業の一環）として位置付けており、当日は両城中学校、両城小学校、港町小学校の児童・生徒が参加しました。低学年の1kmコース、中学年（1.5km）、高学年・女子中学生（2km）、男子中学生（3km）と、それぞれの学年に合わせた距離に挑戦しました。スタートの合図とともに一斉に駆け出した子どもたちは、自分自身の目標タイムの更新や完走を目指し、一步一步力強く路面を蹴り進んでいきました。苦しい場面でも足を止めず、前を向いて走り続ける姿からは、これまでの体育の授業で培ってきた粘り強さが感じられました。沿道では、多くの保護者の皆様や地域の方々が駆けつけてくださり、「頑張れ！」「あと少し！」と温かい声援を届けてくださいました。皆様の応援が、子供たちにとって何よりの背中を押す力となりました。厳しい寒さに負けず、全員が最後まで走り抜いた経験は、これからの学校生活における大きな自信につながるはずです。早朝からの準備や運営にご協力いただいた関係者の皆様、そして温かいご声援をいただいた全ての皆様に、厚く御礼申し上げます。

